

公開シンポジウム

科学者が語る エネルギーの光と影

日時: 平成25年11月19日(火) 13:30~17:10(開場13:00)

場所: 日本学術会議講堂 東京都港区六本木7-22-34 東京メトロ千代田線乃木坂駅5出口

開催趣旨

福島原子力発電所の過酷事故等から既に2年以上が経過した。我が国のエネルギー需給構造をどのようにすべきか。国民的議論が進む中、安定供給性、環境性、経済性、安定性など、多面的な視点からエネルギー源に対する光と影を科学者が平易に述べる。これらの科学的知見を基に、国民が我が国のこれからのエネルギーシステムの在り方について考える機会となることを目的としたい。

プログラム

13:30 開会

開催趣旨

柏木孝夫 (東京工業大学特命教授, 東京都市大学教授)

13:40 エネルギー選択—経済、リスクと国民の矜持

北澤 宏一 (東京都市大学学長)

14:40 期待される再生可能エネルギーの今後の展望

大和田野 芳郎 (産業技術総合研究所企画本部副本部長, 福島再生可能エネルギー研究所所長)

(15:40-15:50 休憩)

15:50 非在来型化石燃料の将来性

松岡 俊文 (京都大学工学研究科教授)

16:50 統括・閉会

山地 憲治 (地球環境産業技術研究機構理事・所長)

17:10 閉会

主催 : 日本学術会議総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会

共催 : 一般社団法人日本機械学会、公益社団法人化学工学会、一般社団法人日本エネルギー学会、
一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センター、東京工業大学AESセンター

お問合せ : 東京工業大学AESセンター aescenter@ssr.titech.ac.jp